

架空請求ハガキの詐欺手口に注意！

お問い合わせ 消費生活センター
(平日)午前9時～午後4時 ☎57-8143

消費者ホットライン
☎188 (嫌や!泣き寝入り)

昨年の秋ごろから引き続き、架空請求ハガキと思われる相談が増加しています。

【架空請求の手口】

- 1 見覚えのない訴訟のハガキが届く
ハガキには、『契約不履行』『差し押さえ』『裁判』『個人情報』『取り下げ最終期日』などの言葉が書かれていて、受け取った方の心理をうまく利用して電話をかけさせます。
- 2 記載された番号に電話をすると・・・

①『センターの担当者名乗る男』
詳しくは言えない。
弁護士を紹介します。

②『弁護士名乗る男』
費用が10万円必要。
原告に連絡してください。

③『原告名乗る男』
「10万円では済まない。
訴訟取り下げには
200万円払ってもらおう。」

3 徐々に要求
がエスカレート!

【アドバイス】
心当たりのないハガキが届いても、あわてて相手に電話をしないでください。
不審な場合は消費生活センターや警察に相談しましょう。

編集後記

春の訪れを肌で感じる季節となりました。

爽やかな風が吹くと今年こそは定期的にランニングなどをして体力づくりに励むぞと気持ちが高まってきます。

春は新しいことにチャレンジしやすい季節だと思います。

いろいろなことにチャレンジして自分磨きをしてみませんか! (T.S)



首都圏情報コーナー

第18回首都圏佐渡連合会総会・懇親会開催

2月4日(日)、東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントにおいて、第18回首都圏佐渡連合会総会・懇親会が開催され、来賓39人、会員140人、総勢179人が出席しました。

1月末に佐渡を襲った大寒波に起因する大規模断水の対応に追われる中、佐渡市役所から伊藤副市長、市橋地域振興課長、世界遺産推進課の正治登録推進係長にご出席いただきました。また、新潟県からは益田副知事、中野議員、佐藤議員にご出席いただきました。

特別講演は佐渡生まれの永田俊一(楽天銀行取締役(旧大蔵省銀行課長、日本銀行理事などを歴任))に『佐渡と私と信託と』の演題で講演していただきました。

特別講演の後、島内障がい福祉サービス事業所代表から事業所についてご説明をしていただきました。

懇親会は朱鷺謡の会による連吟から始まり、佐渡を世界遺産にする首都圏の会による寸劇を交えたアトラクション、東京湊木遣り(両津)、若波会による佐渡民謡などが披露され、盛会の内に若林関東羽茂会会長のあいさつをもって閉会しました。

(文責) 佐渡市東京事務所駐在員 高野 一久



講演する永田俊一さん